



2018年2月13日

各 位

会 社 名	J ト ラ ス ト 株 式 会 社
代表者の役職名	代表取締役社長 藤澤信義
(コード番号)	8 5 0 8)
(上場取引所)	東京証券取引所 市場第2部)
問い合わせ先	取締役執行役員 常陸泰司
電 話 番 号	0 3 - 4 3 3 0 - 9 1 0 0

Group Lease PCLに関する営業損益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2018年3月期第3四半期決算（2017年4月1日～2017年12月31日）において、当社グループが保有するGroup Lease PCL（タイ：タイ証券取引所上場、以下、「GL」といいます。）の普通株式及び転換社債に関連する損益について営業損益を計上するとともに、これらを踏まえ、2017年5月12日に公表いたしました2018年3月期の通期連結業績予想につきまして、下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2018年3月期第3四半期決算における営業損益の計上について

当社子会社であるJTRUST ASIA PTE. LTD.（以下、「Jトラストアジア」といいます。）の投資先であるGLに対する現状の認識につきましては、本日開示いたしました「(開示事項の経過) 当社のGroup Lease PCLに対する現状の認識について」に記載のとおりであります。

このような状況の中、Jトラストアジアが当該転換社債の取消に伴う債権分類変更によりその他の営業収益に5,386百万円を計上する一方、当該転換社債の取消に伴って新株予約権部分に対する評価損を計上したことや、保有株式についても、タイ証券取引所におけるGLの株価が平均取得株価の18.27THB（タイバーツ）から2017年12月末6.8THBまで下落したことにより減損の必要が生じたこと等により、その他の営業費用として8,230百万円計上することとなりました。

2. 業績予想の修正について

(1) 2018年3月期通期連結業績予想数値の修正（2017年4月1日～2018年3月31日）

	営業収益	営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当 り当期利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	89,490	10,058	8,137	79.05
今回修正予想(B)	88,577	2,844	△448	△4.35
増減額(B-A)	△913	△7,214	△8,585	
増減率(%)	△1.0	△71.7	—	
(ご参考) 前期実績※ (2017年3月期)	80,123	1,317	△1,270	△11.94

※前期実績の数値につきましては、IFRSへの組替えを行っております。

(2) 修正の理由

営業収益につきましては、総合エンターテインメント事業において、既存ゲーム店舗における集客の伸び悩みによる影響が重なったことや、ハイライツ・エンタテインメント株式会社が開発した遊技機の販売方法を一括販売からレンタル方式等を採用したことによる収益計上の長期化により、売上・利益面とも軟調に推移いたしました。さらに、東南アジア金融事業においても貸出ポートフォリオの入れ替えにより貸出金残高が伸び悩んだこと等により貸付金利息が計画比減少いたしました。また、上述の「1. 2018年3月期第3四半期決算における営業損益の計上について」に記載の営業収益の計上により、ほぼ計画通りで推移いたしました。しかしながら、同じく上述の投資事業において多額の営業費用を計上したことにより、営業利益、親会社の所有者に帰属する当期利益につきましては、前回発表予想を大幅に下回る見込みです。

3. 今後について

国内金融事業では賃貸住宅ローン保証を中心に信用保証業務が好調であり、債権回収業務につきましても回収が順調に推移しております。また、韓国金融事業でも、法律・規制の変更に対応し、貯蓄銀行業と債権回収事業のバランスをとりながら収益を順調に伸ばしております。さらに東南アジア金融事業につきましても、ようやく事業基盤の整備が図れ、本来の銀行業務から利益を生み出す収益体制へと移行できたことから、営業黒字を見込めるようになりました。一方で、総合エンターテインメント事業、投資事業につきましては上述のとおり当期は営業赤字を見込んでおります。

今後もこの収益モデルに変更はなく、ベースとなる収益は安定的に続くものと考えております。また、東南アジアを中心にM&Aについても積極的に取り組んでおり、事業規模の拡大とともに更なる企業価値の向上が図れるものと考えております。なお、投資事業につきましては、2018年3月期第3四半期決算でGLに関連した現時点での損失を計上しております。

4. その他

当社連結子会社である株式会社KeyHolder（以下、「キーホルダー」といいます。）は、キーホルダーの100%子会社であるアドアーズ株式会社の全株式を、株式会社ワイドレジャーに譲渡することを決議し、2018年1月23日付けで株式譲渡契約を締結いたしました。

アドアーズ株式会社の全株式について、2018年2月27日に開催を予定しているキーホルダーの臨時株主総会の承認が得られたこと等の条件を満たし譲渡が実行された場合には、IFRS第5号に従い、当社は同社の経営成績並びに譲渡に伴う損益を非継続事業として開示する予定です。

その場合の通期の業績予想は、現時点での想定として下記のとおりとなる見込みです。

	営業収益	営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当 り当期利益
アドアーズ株式会社全株 式の譲渡が実行され、同社 の経営成績並びに譲渡に 伴う損益が非継続事業と して開示される場合の通 期の業績予想	百万円 77,574	百万円 2,486	百万円 △187	円 銭 △1.82

(注) この資料に記載しております業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上